鹿屋体育大学出身のJリーグコーチによる指導者講習会（分析編２）

戦略的社会貢献プロジェクト：村川大輔

事業概要

近年、サッカー界ではテクノロジーの発展に伴い、映像分析をはじめとするパフォーマンス分析が広く普及し、選手個人のプレーやチーム戦術を客観的に評価することが可能となっている。これにより、トレーニングの改善や戦術の検証が進む一方、その活用には、試合やトレーニングから必要な情報を的確に抽出し、現場の指導に結びつける専門的知識や分析力が求められる。しかし、そうしたスキルを持つ人材は限られており、指導者やアナリスト個人の力量に依存してしまう点が課題とされている。このような状況を踏まえ、第2回となる本講習会では、プロサッカー界で活躍する本学OBのコーチやアナリストを招聘し、彼らが現場で培ってきた実践的な知見を共有する。内容は、試合やトレーニングの映像分析、対戦相手のスカウティング手法、分析結果を活用したミーティング運営の実際、さらにはサッカー界の最新動向まで幅広く扱う。参加者は、現場で求められる分析の視点や実践的スキルを習得するだけでなく、総合的な指導力の向上を図ることができる。

さらに、本講習会は鹿屋体育大学および本学OBを中心とした産学官連携によって開催され、地域指導者へのリカレント教育の場としての役割も担う。これにより、地域全体の指導力向上に貢献するとともに、本学の特色を全国のサッカー指導者へ発信することで、大学の認知度向上や将来的な受験者増加にもつなげる。加えて、本事業は継続的な開催を通じて内容の充実を図り、将来的に他競技への展開を見据えたモデルケースとして位置づけられる。

事業実績・成果

講師紹介



堀尾郷介（27期）
・名古屋グランパス（J1）
・南葛SC
・中部大学サッカー部



安部悠平（31期）
・FC琉球（J2）
・レノファ山口 (J2)
・アビスパ福岡 (J1)

参加者の様子（アンケートより抜粋）



参加者の声
プロサッカーの現場で実践されている分析手法やアナリストの役割について、実際の映像や具体的な事例を通して学ぶことができ、大変有意義な時間でした。特に、試合中のプレーを客観的に分析し、課題を抽出した上で、選手へのフィードバックやトレーニングに結びつける過程が印象的でした。また、同じ映像でも着目する視点によって得られる情報が異なることを知り、サッカーを見る視野が広がりました。専門的な内容でありながら分かりやすく、指導者だけでなく選手や保護者にとっても学びの多い講習会だったと思います。今回学んだことを今後の指導に生かすとともに、このような貴重な機会を今後も継続していただきたいと感じました。

講習内容（1日目）

２０２５年１２月２８日（日）

９：００－	受付
９：３０－１２：００	実践事例の共有（講義・堀尾氏）
１２：００－１３：００	昼休憩
１３：００－１５：３０	試合分析の演習（安部氏）
１５：３０－１６：００	ディスカッション（堀尾氏・安部氏）
１８：００－２０：００	情報交換会



実践事例の共有



試合分析に関する講義



試合映像を用いた演習

〇成果
本指導者講習会の成果として、まず、地域の指導者やスポーツ関係者に対して継続的な学びの機会を提供し、リカレント教育の推進を通じた社会貢献活動を実施できた点が挙げられる。講習会では、専門的な知識や最新の知見を地域のスポーツ現場に還元することで、参加者の指導力向上や新たな視点の獲得に寄与するとともに、地域全体のスポーツ指導の質的向上につながる機会を創出することができた。
また、本学OBとの連携を深めることで、卒業生と大学との継続的な関係構築を促進するとともに、地域の指導者や関係団体とのネットワークを広げる契機となった。こうした人的ネットワークの形成は、今後の講習会の継続的な開催や新たな連携事業の展開に向けた重要な基盤になると考えられる。さらに、講習会の企画・運営を通じて、地域における学習ニーズや事業運営上の課題を把握することができ、今後の事業の収益化や持続可能な運営体制の構築に向けた手がかりを得ることができた。以上のことから、本講習会は、地域社会への知的資源の還元、卒業生との連携強化、事業の継続的な展開という複数の観点において意義のある成果を上げることができた。

今後の事業の展望

本事業は今回で2回目の開催となり、現役のJリーグ分析コーチを講師として招聘し、「分析編２」として実施した。指導現場に直結する実践的な内容を提供することで、参加者の満足度は高かったと考えられる。特に、近年のサッカー指導において重要性が高まっている「データ分析」や「ミーティング」をテーマに、サッカーの観方や選手への効果的な伝え方を学ぶ機会を提供できたことは大きな成果であった。また、継続開催を通じて、地域の指導者に対する学習機会の充実を図るとともに、本事業の継続的な実施に向けた基盤を強化することができた。
今後も、指導現場のニーズに即した講習会を継続的に開催し、地域指導者の資質向上と本学の社会貢献活動のさらなる充実を図っていく。加えて、都市部での開催を通じた集客力・収益力・広報力の強化や、参加者の多様なニーズに対応した講習内容の充実を進めることで、事業の収益化と持続可能な運営体制の構築を目指していきたい。